

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第355号

08年03月23日発行

2008年度、予算審議が終了しました

貯金は600億円



後期高齢者医療制度は、75歳という年齢を重ねただけで国保や健保から追い出し別枠の制度に困り込み、負担増と給付減を強いると

第1

区民にかぎらない差別と負担を
している問題

品川区の基金は数年間にわたって600億円前後を維持しています。しかし、品川区の予算編成は行政自らが低賃金の不安定雇用を生み出し、所得格差を

**品川区の役割りは区民のくらしと福祉を守ることに…
これでは賛成できません**

新年度予算編成は、政府が「構造改革」の名ですすめてきた、一握りの大企業・大資産家の利益だけを応援し、国民には増税、社会保障の切り捨て、雇用破壊を押し付け、貧困と格差が拡大するもとでおこなわれました。

広げ、区民の中に貧困をもたらすというものであり、福祉とくらしを守るという地方自治体本来の役割りを投げ捨てています。



日本共産党は後期高齢者医療制度による、

無慈悲な保険料取り立て、高齢者の切り捨てを絶対に許すわけにはいきません。

さらに介護保険では基金積立金が08年度末の見込み額で20億円余。高齢者一人につき、31250円ものため込み。保険料を取り立てる一方で、サービスを削減している姿勢が明確です。

また、国民健康保険料も年金200万円の一人ぐらしの方で05年

度には32100円、天引きです。08年度には73375円と2.3倍化。国保料滞納世帯は25%。後期高齢者医療制度や介護保険制度と同様に65歳になれば年金からの



を委託。昨年は、大間窪小学校、荏原西中学校の委託を受けた業者が人員配置もできず給食を児童に提供できないという事態が引き起こされました。また、

第2

区民サービスは民間企業に丸投げ、行政自らが年収200万円にも満たない不安定雇用を作り出している問題

品川区では公務サービスに従事する職員のうち三人に一人は派遣やアルバイトなどによる非正規雇用者によつ



てまかなわれています。夜間業務を担当する派遣職員の保育士では、品川区から派遣会社により2600円が支払われながら本人には1800円。恒常的業務である一時保育のオアシスルームは3年ごとに開設場所を変えらるという労働者派遣法違反ぎり

ぎりの行為。人材派遣は文化センター、図書館、地域センターでもおこなわれ、派遣会社には1575円、本人時給は900円から950円。ほかに委託、指定管理のもとで多くの非正規雇用者が行政サービスにたずさわりながら低賃金での雇用となつていて見ることができま

今、日本社会をおおる実体を直視すべきです。う貧困の広がりの根源には人間らしい雇用を破壊してきたことにあり、品川区が雇用破壊に加担することは認められません。(次号につづく)

無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すすらん通り事務所

日時 4月18日 (金)

午後6時～8時



前日までに5742-6818までは電話を下さい。